

令和3年6月29日

記者発表



山青し 海青し 文化は輝く
紀の国わかやま文化祭2021
第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
令和3年10月30日(土)~11月21日(日)

開催まであと123日

『紀の国わかやま文化祭2021』開会式・閉会式の特別出演者が決定!!

本年秋に開催する『紀の国わかやま文化祭2021』の開会式【10/30(土)】及び閉会式【11/21(日)】を、県民の皆さまとともに盛り上げていただく特別出演者が決定しました。魅力溢れるプログラムを展開しますので、一般観覧に応募いただき、会場にお越し下さい。

開会式 特別出演者一覧

* プログラム別に50音順で掲載、敬称略

【プロローグ】尾上 菊之助



出身:東京都
七代目尾上菊五郎の長男。1992年には、祖父・父とともに『京鹿子娘三人道成寺』を踊る。1996年、五代目尾上菊之助を襲名。近年、女方の大役をつとめるとともに、立役にも意欲的に取り組む。

【式典 総合司会】高松 良誠



出身:和歌山県紀の川市
1983年、テレビ和歌山入社。20年間在籍し、退社後はフリーアナウンサーとして活動。癒し系の優しい声と的確なナレーションに定評があり、野球等のスポーツ実況など、多くのTV・ラジオ・CM等に出演。

【式典 総合司会】田中 理恵



出身:和歌山県
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事。2010年、世界選手権でロンジン・エレガンス賞受賞。ロンドン五輪では、兄・和仁、弟・佑典と3兄弟で出場を果たす。引退後、TVやイベントに出演。

【式典 国歌独唱】斉藤 言子



出身:和歌山県和歌山市
数々の国際コンクールで上位入賞歴を持つソプラノ歌手。前神戸女学院大学学長、2021年より、同大学名誉教授。和歌山県文化功労賞、和歌山市文化賞など、受賞歴多数。

【式典 開会宣言】ウインズ平阪



出身:和歌山県橋本市
1986年のデビュー以来、地元和歌山を拠点に活動。50社以上のCMソングを手掛ける。紀の国わかやま国体イメージソング作詞作曲。和歌山県文化奨励賞を受賞。
※ 閉会式にも出演

【式典 開会宣言】中瀬 朱



出身:和歌山県海南市
生まれつき脊椎に障害があり足に麻痺がある。社会人になってから「車いすダンス」と出会い、風を切って踊れる感覚に魅了され、全国大会で優勝、世界大会では入賞した。
※ フェスティバルにも出演

【フェスティバル】天翔 りいら



出身:大阪府
2008年、宝塚歌劇団入団。退団後は舞台を中心に活動、TVドラマにも出演。2013年には、和歌山県議会の議場で国歌独唱を披露。「紀の国わかやま国体・大会」、「ねんりんピック」にも出演。

【フェスティバル】上野山 英里



出身:和歌山県和歌山市
ピアニスト・作曲家。インターナショナルエレクトーンコンクール・ポピュラー部門第1位受賞。相愛大学音楽学部卒。国内外で多岐に渡って活動。2枚のリーダーアルバムをリリース、他様々な作品に参加。

【フェスティバル】大家 一将



出身:和歌山県橋本市
高野口中学校吹奏楽部で打楽器に出会う。東京藝術大学音楽学部打楽器科卒業。演奏ジャンルはクラシックに限らず、映画・TV・CM・ラジオ・アニメ・ゲームなど、その活動は多岐に渡る。

【フェスティバル】木乃下 真市



出身:和歌山県和歌山市
3歳より父親から三味線と民謡を習う。1986、87年津軽三味線全国大会2年連続優勝。2019年和歌山市文化功労賞受賞。津軽三味線木乃下流 家元。津軽三味線世界大会 審査委員長。

【フェスティバル】坂本 冬美



出身:和歌山県上富田町
1987年に『あばれ太鼓』でデビュー以来、数々のヒット曲をリリース。2008年「県ふるさと大使」就任。「全国植樹祭」、「紀の国わかやま国体・大会」など、故郷である和歌山県の大規模イベントに多数出演。

【フェスティバル】澤 和樹



出身:和歌山県和歌山市
東京藝術大学学長。日本を代表するヴァイオリニストとして、国際的な活躍を続ける。2005年、和歌山県文化賞受賞。「きのくに音楽祭」の総監督を務めるなど、和歌山県の音楽の発展に尽力。

【フェスティバル】嶋本 龍



出身:和歌山県湯浅町
全国でも稀な和太鼓ソリストとして国内外を問わず活動。中でも大太鼓一人打ちは、繊細かつ力強い音色で人々を魅了し、2012年には『世界和太鼓一人打ちコンテスト』で最優秀賞を受賞。

【フェスティバル】辻本 好美



出身:和歌山県橋本市
東京藝術大学音楽学部邦楽科尺八専攻卒業。2016年に「Bamboo Flute Orchestra」で、初の女性ソロ尺八奏者として、メジャーデビュー。2020年、和歌山県文化奨励賞受賞。

【フェスティバル】西 陽子



出身:和歌山県和歌山市
東京藝術大学邦楽科卒業と同時に、皇居内桃華楽堂で御前演奏。ソリストとして国内外で演奏活動を行う一方、和歌山での教授活動を継続している。自由な発想で箏の魅力が多面的に発信。

※ 特別出演者所属事務所等への直接のお問い合わせはお控えください ※ 写真の無断転載を禁じます

※ 開会式・閉会式の概要等は、次ページ以降を参照ください

〈問い合わせ〉第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局（担当：口井、高畑、上野）
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1（県庁東別館5階 紀の国わかやま文化祭推進局 事業推進課内）
TEL：073-441-2574 FAX：073-423-7120 MAIL：kinokunibunkasai2021@pref.wakayama.lg.jp

開会式の概要(予定) 期日:令和3年10月30日(土) 会場:和歌山ビッグホエール

プログラム

時間	プログラム
プロローグ (14分)	
15:00～ 15:14	● 祝賀舞「道成寺より 鐘ヶ岬」
式典 (23分)	
15:14～ 15:37	● 国歌独唱 ● 主催者挨拶 ● 歓迎の辞 ● 皇室のおことば ● 開会宣言

時間	プログラム
フェスティバル (50分)	
15:37～ 16:27	● 第1章「八咫鳥とコガラス ～旅立ち～」 ● 第2章「山青し ～祈り～」 ● 第3章「海青し ～挑戦～」 ● 第4章「文化は輝く ～人は輝く～」 ● エンディング「みんなのうた ～未来～」
エピローグ (13分)	
16:27～ 16:40	● 出演者紹介 ● 県主催事業の予告編映像

展開概要

【プロローグ】文化祭の開幕を祝う歌舞伎プログラム

祝賀舞「道成寺より 鐘ヶ岬」 尾上 菊之助氏による和歌山ゆかりの歌舞伎演目の披露

【式典】厳粛さの中にも温かさが感じられるセレモニープログラム

総合司会者

高松 良誠氏と田中 理恵氏による司会進行

国歌独唱

斉藤 言子氏による国歌独唱

開会宣言

ウインズ平阪氏と中瀬 朱氏による開会宣言

【フェスティバル】開会式のハイライトとなる目玉プログラム

和歌山の自然を巡りながら文化に触れる“旅”を通じて、「山青し 海青し 文化は輝く」の源を探る物語。

『紀の国の自然や先人たちのように、わかやまの文化を輝かせ、わかやまの人を輝かせよう』とのメッセージを伝えます。

第1章「八咫鳥とコガラス ～旅立ち～」

バイオリン演奏に合わせた熊野の映像で物語をスタートし、観客の心を掴みます。その後、那智の滝のシーンに移ると、導きの神である八咫鳥とコガラスが登場し、神秘的な舞を披露します。

第2章「山青し ～祈り～」

和歌山の文化に触れる“旅”が始まります。山では、声明とともに高野山の歴史や空海を紹介します。その後、紀の川から和歌浦の里へ至るシーンでは、山・川・里にちなんだ3曲を合唱します。

第3章「海青し ～挑戦～」

海では、短歌を交えながら和歌浦を紹介し、邦・洋楽合奏を始めます。1曲目は晴れやかな曲調で和歌浦の海を、2曲目は激しい曲調で黒潮の海を演奏し、荒波を乗り越える様を表現します。

第4章「文化は輝く ～人は輝く～」

“旅”の原点・熊野の御燈祭をモチーフにしたミュージカルを披露します。冒頭の和太鼓に続き、歌や芝居で自然への感謝を表現していると、火の鳥が登場し、文化が輝くとは人が輝くことだと伝えます。

エンディング「みんなのうた ～未来～」

坂本冬美氏が登場し、文化のチカラで困難を乗り越えていく力強いメッセージを発信したあと、和の曲を独唱します。その後、文化祭の開幕を告げる未来の歌を合唱し、フィナーレを迎えます。



イメージパース

【エピローグ】県主催事業の予告編を放映する映像プログラム

県主催事業の予告編映像

国文祭・障文祭に係る各事業の紹介映像

一般出演団体

* フェスティバル出演団体について、50音順で掲載

アヤコミフルールバレエスクール、県立きのかわ支援学校高等部和太鼓部、県立桐蔭高等学校箏曲部、高野山真言宗 総本山金剛峯寺、Sundy'sわかやまCheerleaders、WMO新体操クラブ、りら創造芸術高等学校、和歌山児童合唱団、和歌山バトン

閉会式 特別出演者一覧

* プログラム別に50音順で掲載、敬称略

【式典 総合司会】笠野 衣美



出身:和歌山県海南市
 テレビ宮崎・テレビ和歌山の局アナを経て、フリーアナウンサーとして活動。聞き取りやすくスムーズなナレーションに定評がある。全国規模の式典の司会を務め、多くのTV・ラジオに出演するなど、多岐にわたり活躍中。

【グランドフィナーレ】singer SAYAKA



出身:和歌山県和歌山市
 アップテンポな曲からバラードまで歌い上げ、自身の全楽曲を作詞する女性ソリンガー。地元和歌山をこよなく愛し、県内イベントに積極的に出演するなど活躍中。文化祭をPRする「広報キャラバン隊」メンバー。

【グランドフィナーレ】田頭 宜和



出身:和歌山県紀の川市
 和歌山在住のピアノ弾き語りシンガーソングライター。甘く切ない歌声で繊細に、そして時には力強く表現する。地元和歌山で意欲的にライブ活動を展開中。文化祭をPRする「広報キャラバン隊」メンバー。

【グランドフィナーレ】藪下 将人



出身:和歌山県由良町
 2009年河島英五音楽賞最優秀作品賞受賞。2011年由良町文化奨励賞受賞。CMソングなど数多く手がけ、また、TVやラジオのレギュラー番組を持ち、多方面で活躍中。文化祭をPRする「広報キャラバン隊」メンバー。

【グランドフィナーレ】優月



出身:和歌山県和歌山市
 和歌山初のご当地アイドルFunxFamのボーカルとして2015年メジャーデビュー。現在、ソコ歌手として活躍中。ウインズ平阪のサポートメンバーとして「ねんりんピック紀の国わかやま2019」テーマソング「あしたへと」にも参加。



閉会式の概要(予定) 期日:令和3年11月21日(日) 会場:和歌山県民文化会館

プログラム

時間	プログラム
オープニング (20分)	
14:00~ 14:20	<ul style="list-style-type: none"> ● 大会の振り返り映像 ● 和歌祭
式典 (25分)	
14:20~ 14:45	<ul style="list-style-type: none"> ● 国旗儀礼 ● 和歌山県旗儀礼 ● 主催者挨拶 ● 国民文化祭旗の引き継ぎ(沖縄県) ● 次期開催県挨拶

時間	プログラム
次期開催県アトラクション (25分)	
14:45~ 15:10	● 次期開催県アトラクション
グランドフィナーレ (20分)	
15:10~ 15:30	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1章「喜び」 ● 第2章「情熱」 ● 第3章「輝く未来へ」

展開概要

【オープニング】式典前に会場の雰囲気盛り上げるプログラム

和歌祭

400年にわたり受け継がれてきた**和歌祭**の演目披露
 (出演:和歌祭保存会、和歌祭四百年式年大祭実行委員会、和歌祭実行委員会)

【式典】次期開催県に文化祭旗を引き継ぐセレモニープログラム

総合司会者

笠野衣美氏による司会進行

国民文化祭旗の引き継ぎ

和歌山県から沖縄県に**国民文化祭旗を引き継ぎ**

【次期開催県アトラクション】沖縄県による開催PRプログラム

【グランドフィナーレ】閉会式のハイライトとなる目玉プログラム

紀の国わかやま文化祭の意義と成果を再確認するとともに、**未来に向けた決意を発信する**ストーリー。国文祭・障文祭の一体開催を象徴するように、**障害のある人もない人も協力して**ステージを彩ります。

第1章「喜び」

暗闇の中に照らし出されたほら貝・尺八奏者の演奏が会場を包みます。その後、文化祭が喜びと感動の中でフィナーレを迎えたことを伝え、威勢のよいかけ声とともに太鼓の演奏を披露します。

第2章「情熱」

和歌山の文化を情熱をもって発展させていくことを伝えた後、歌手とよさこい演者が登場します。歌手の歌唱に合わせて、支援学校の生徒たちが、力強いよさこい踊りを展開します。

第3章「輝く未来へ」

和歌山の文化がこれからも、県民に笑顔の花を咲かせ、和歌山の未来を輝かせていく想いを、県内ミュージシャン、児童合唱団の合唱、手話コーラスの手話に乗せて発信し、文化祭を締め括ります。

一般出演団体

* グランドフィナーレ出演団体について、50音順で掲載

黒潮踊虎太鼓保存会、県立紀伊コスモス支援学校高等部、興国寺普化尺八道場法燈会、TEAM SIGN、ほら貝奏者、和歌山児童合唱団